

## 序 章

# 緑の基本計画策定の概要

- 1. 計画改定の目的..... 2
- 2. 計画の位置づけ..... 2
- 3. 対象となる緑 ..... 3
- 4. 緑の役割 ..... 4
- 5. 計画改定の考え方..... 5
- 6. 緑の基本計画の構成 ..... 6



### 都市公園愛護報奨金交付制度

市民のみなさんが気持ちよく安心して利用できる公園にするため、都市公園等の除草や清掃等を行っている地域の団体等に対し、報奨金を交付する制度です。

## 序 章 緑の基本計画策定の概要

### 1. 計画改定の目的

本市では、都市緑地法に基づき、緑地の保全と緑化の推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するため、平成 13 年 3 月に「大牟田市緑の基本計画」を策定し、都市公園の整備や緑地の保全に取り組んできました。

そのような中、計画策定から 20 年近くが経過し、少子高齢化の進展や都市緑地法の改正等、緑を取り巻く環境が変化したことに加え、本計画の目標年次を令和 2 年度に迎えることから、緑の基本計画を改定します。

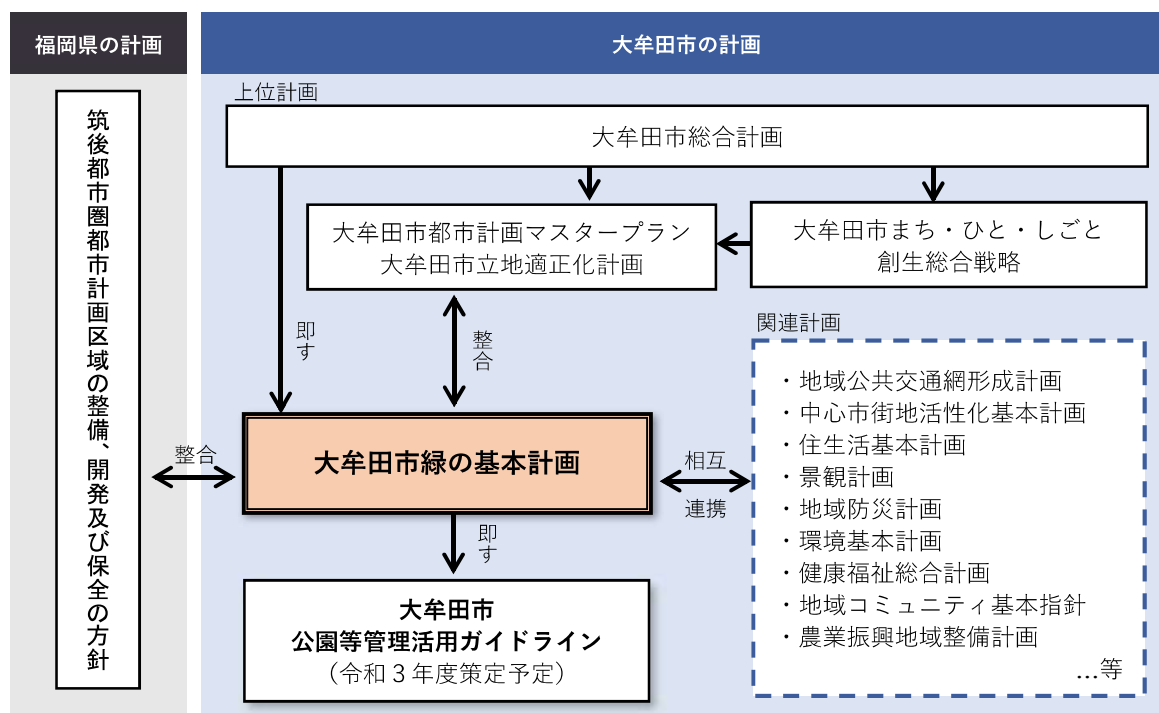
### 2. 計画の位置づけ

#### (1) 緑の基本計画とは

「緑の基本計画」とは、都市緑地法第 4 条に規定されている「緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画」のことで、緑に関する総合的な計画です。市町村が地域の実情を十分に考慮し、官民一体となって緑地の適正な保全や緑化の推進に関する施策、取組みを総合的かつ計画的に推進することを目的として策定するものです。

#### (2) 計画の位置づけ

本計画は、「大牟田市総合計画」に即し、また「大牟田市都市計画マスタープラン」や「大牟田市立地適正化計画」等の関連計画と整合のとれた内容とします。



### (3) 計画期間

計画の期間は、大牟田市都市計画マスタープランとの整合を図り、令和3年から概ね20年とします。

	R3 2021	R8 2026	R13 2031	R18 2036
総合計画	第6次総合計画		次期総合計画	
<b>緑の基本計画</b>	大牟田市緑の基本計画（概ね20年）			
都市計画マスタープラン	大牟田市都市計画マスタープラン（概ね20年）			
立地適正化計画	大牟田市立地適正化計画（概ね20年）			
都市計画基礎調査	調査実施	調査実施	定期的実施	
評価・検証	評価・検証	評価・検証	定期的実施	

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

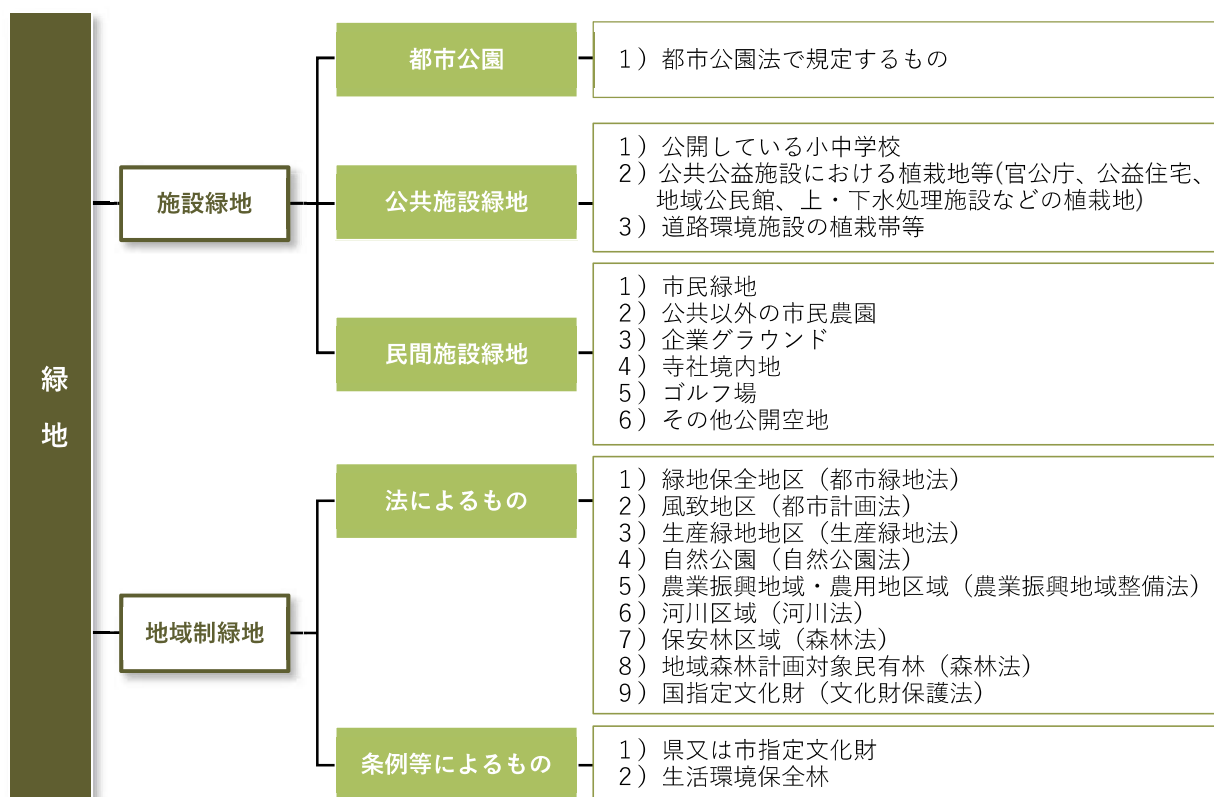
第6章

### 3. 対象となる緑

一般的に「緑」は、樹木や草花といった、いわゆる“植物”をイメージさせますが、本計画で対象とする「緑」は、樹木等で被われている樹林地（自然林、人工林、竹林等）、草地（ススキ、ササ等）、農地（水田、畑、果樹園等）、公園等、水辺地（河川、ため池、干潟等）等のオープンスペースとし、さらにプランターや鉢等に植えられたものも含めた広い概念で捉えています。

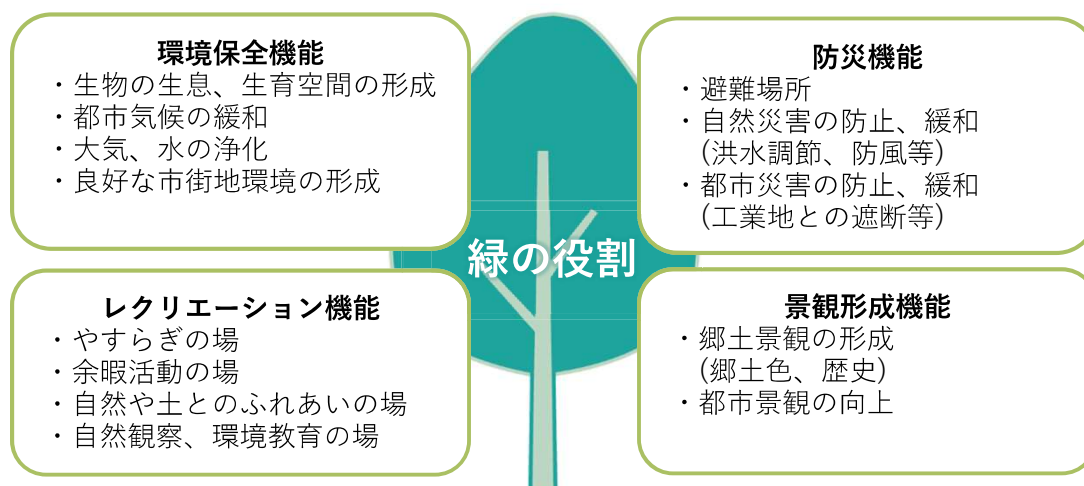


なお、制度的には、都市緑地法第3条第1項に定める「緑地」を対象とします。「緑地」は、都市公園のような公共公益施設として管理される「施設緑地」と、法律などで土地利用が規制される「地域制緑地」に大別され、これらの緑地を保全することにより、将来的に緑が確保されます。



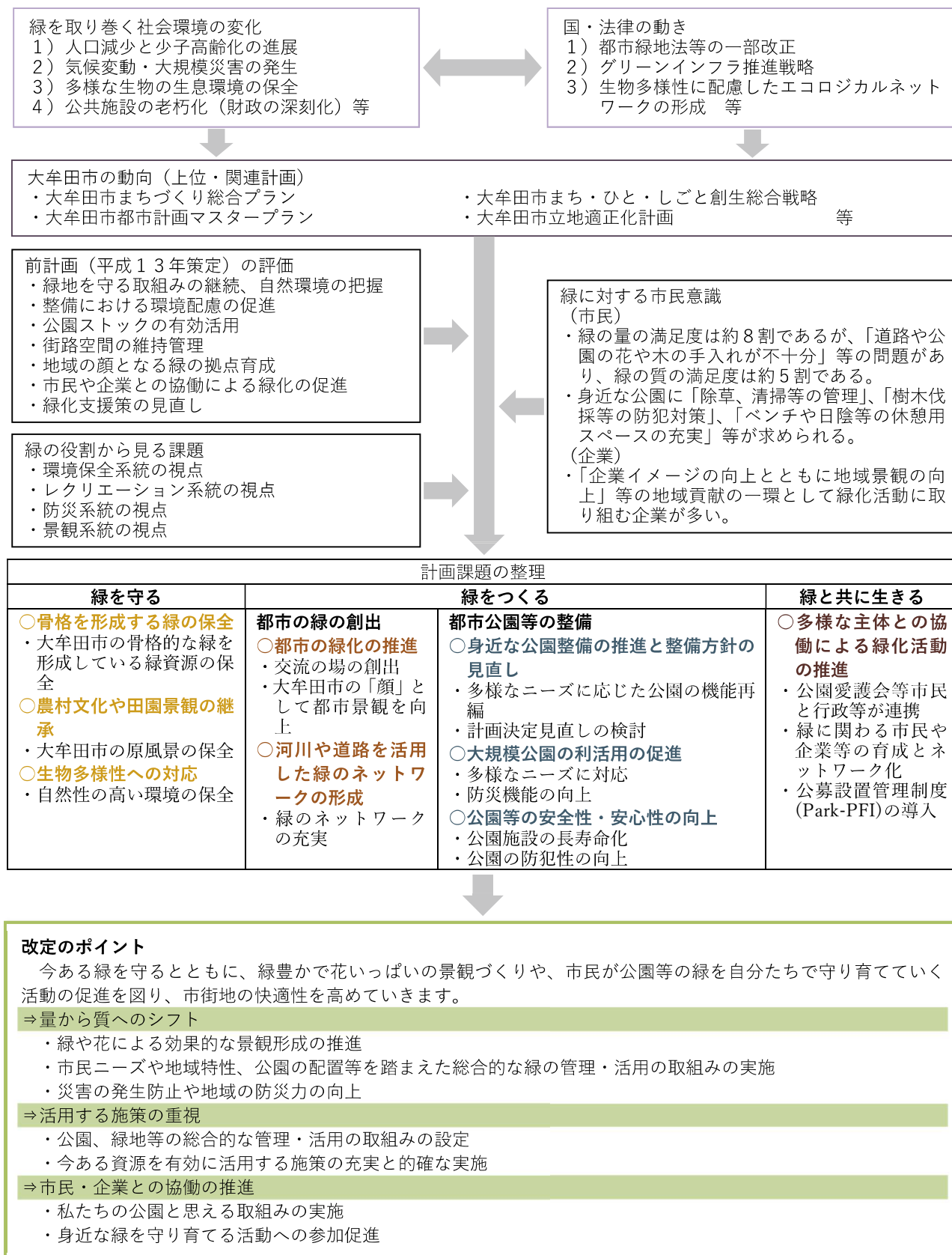
#### 4. 緑の役割

緑が都市において果たす役割として環境保全機能、レクリエーション機能、防災機能、景観形成機能の4つがあげられます。このように緑は、快適な生活環境を創出し、全ての人々にゆとりやうるおい、健康で快適な文化の香り高い生活をもたらすことが期待されます。



## 5. 計画改定の考え方

今回、緑の現状や緑に関する市民意識の変化及び緑の課題を踏まえ、次のような考え方により計画を見直します。



## 6. 緑の基本計画の構成

本計画の構成を以下に示します。

